

日本文化史における「耳なし芳一」

研究キーワード



- 日本文化史、日本中世史、日本史、文化振興活動
(日本の歴史や伝統文化に関する研究、教育、英語で発信する)
- 英語教育
(英語学習トレーニング)

連携アピール



- 日本文化史、日本中世史を研究しています。歴史的思考能力を培いながら、日本の歴史や文化をいかに英語で世界へ発信していくかということについて、講義・演習を行っています。大学では「Japan: Past and Present (日本：過去と現代)」のゼミ、「Japanese History and Culture」、「Shinto English」、「Tourism English」、「Global Japan」、「日本文化史」などの科目を担当しています。
- 通訳者・翻訳者養成にも携わった経験から、ビジネス・プロフェッショナル、外国人の接客、英語教員として求められる基礎知識とスキルの育成についても関心を持っています。

本研究の概要

- 日本文化の「物語」は「歴史」と「文学」の総合交渉によって生まれたと見なし、近代の思想史背景を確認しながら、代表的な文学（文字と言葉）と絵・動画（文字、言葉、色、線、音）がどのような物語を描写しているかを考察します。
- 現代で漫画化された時代像と照らし合わせながら、前近代の「伝統文化」と近現代の「大衆文化」の関係性についての理解を深めます。

「琵琶秘曲泣幽霊」(1782年)、「耳なし芳一」(1904年)



(富山大学蔵、国立国会図書館蔵)

THE STORY OF MIMI-NASHI-HOICHI

More than seven hundred years ago, at Dan-no-ura, in the Straits of Shimonoseki, was fought the last battle of the long contest between the Heike, or Taira clan, and the Genji, or Minamoto clan. There the Heike perished utterly, with their women and children, and their infant emperor likewise--now remembered as Antoku Tenno. And that sea and shore have been haunted for seven hundred years...

研究者



クリストファー・メイヨー
文学部コミュニケーション学科 教授

